



平成 23 年 5 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 日 新
代表者名 代表取締役会長 筒井 博
コード番号 9066 (東証・大証 第一部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 渡邊 淳一郎
(Tel : 03-3238-6555)

第 4 次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2011 年度（2012 年 3 月期）から 2013 年度（2014 年 3 月期）までの第 4 次中期（3 ヶ年）経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

第 4 次中期経営計画の概要

基本方針

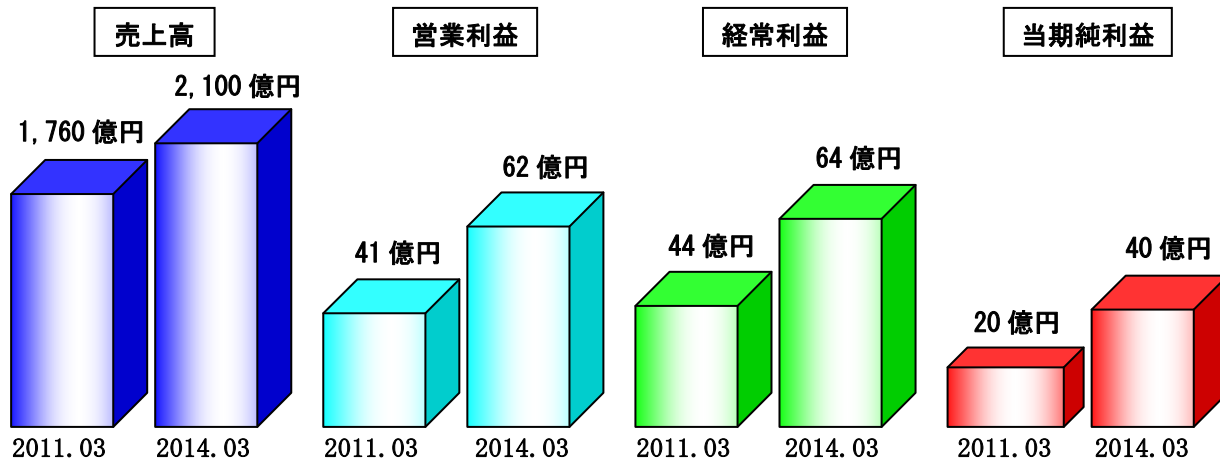
「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー」への成長・発展

- 海外事業に軸足を移した展開
==> 海外売上高の拡大
- 収益力の強化
==> 利益率の向上

重点施策

1. フォワーディング事業の強化
2. 国内事業の整備・強化
3. 成長・新興国への注力
4. 新たな成長モデルの開発・育成
5. 強固な経営基盤の確立

数値目標



※ 2014.03 目標売上高は、当社会計方針変更（輸出航空混載貨物輸送における当社受取手数料等の計上方法変更）後の数値であり、2011.03 売上高は、当該計上方法を変更した場合の参考値

I. 第3次中期経営計画のレビュー

第3次中期経営計画（2009年3月期～2011年3月期）は、「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー」を将来のめざす姿とし、持続的な成長をはかるため、海外事業に軸足を移し、グループ一体となって、5極（日本・米州・中国・アジア・欧州）間のフォワーディング事業と成長地域を重点的に強化することを基本方針に、2008年4月にスタートしました。

しかしながら、この間、金融危機による世界的な景気悪化の影響もあり、収益に関しては、当初計画からは大きく後退することを余儀なくされました。

1. 主な取り組み・成果

1) グローバル物流の強化

- ・ 新興国で新商品を開発 — ベトナム鉄道利用輸送・インドトラック輸送サービスの開始
- ・ 物流網を拡充 — [自動車]ブラジル拠点、[電機電子]イタリア拠点

2) 国内事業の収益力強化

- ・ 本格的 M&A を実施 — 鶴見倉庫(株)取得による危険品物流の基盤整備
- ・ 大型物流拠点「堺 LC」を開設 — 輸入一貫物流の強化
- ・ 環境物流への取り組み開始 — 内航船輸送へのモーダルシフト推進

3) 新たな成長モデルの開発・育成

- ・ 3PL事業推進体制を構築
- ・ BPOの導入、活用開始

2. 収益実績（連結）

（単位：百万円）

	2008. 03 実績	第3次中期経営計画				
		最終年 目標	1 年目	2 年目	3 年目	
			2009. 03 実績	2010. 03 実績	2011. 03 実績	2008. 03 比
売上高	227, 749	260, 000	197, 860	164, 420	192, 617	85%
営業利益	5, 244	8, 100	3, 526	819	4, 128	79%
経常利益	5, 377	8, 300	3, 488	1, 030	4, 357	81%
当期純利益	2, 257	5, 000	1, 512	613	1, 984	88%

II. 第4次中期経営計画の基本的な考え方

第4次中期経営計画では、「グローバル・ロジスティクス・サービス・プロバイダー（GLSP）」への成長・発展をテーマに、海外事業に軸足を移した事業展開と収益力の強化に取り組むことで国際競争力を高め、2014年3月期、連結売上高2,100億円、経常利益64億円、当期純利益40億円の達成をめざしてまいります。

海外事業では、特に経済成長著しい中国・インド・東南アジアへのリソースの重点投入をはじめ、グローバル人材の育成、海外拠点の営業・管理体制の整備、グローバルIT対応力の向上などにより、海外事業基盤の強化を進め、海外現地法人の売上高増大をはかってまいります。また、業務のやり方や組織体制を見直すことで、業務の効率化、組織のスリム化に加え、重点分野へのリソースのシフトを進め、収益力の高い組織を構築し、利益率の向上をめざしてまいります。

Ⅲ. 重点施策

1. フォワーディング事業の強化

- ・ 航空・海上・NVOCC 事業の拡大
- ・ 自動車・電機電子・化学品分野をベースにした営業強化
- ・ 海外引越事業の強化
- ・ 重点地域での積極的推進

2. 国内事業の整備・強化

- ・ 国内物流拠点の整備
- ・ 陸運事業の再構築

3. 成長・新興国への注力

- ・ 中国
- ・ ベトナム
- ・ インド
- ・ ブラジル、ロシア、中近東

4. 新たな成長モデルの開発・育成

- ・ 3PL事業の推進
- ・ 危険品物流の拡充
- ・ 成長分野（食品、医薬・医療、環境関連等）への展開・強化

5. 強固な経営基盤の確立

- ・ グローバルな業務・組織の改善
- ・ 海外拠点における営業・管理体制の整備
- ・ グローバルなIT対応力の強化
- ・ グローバル人材の確保・育成
- ・ 連結経営の強化

Ⅳ．計画最終年度の目標数値（連結）

（単位：百万円）

	2007. 03 実績	2011. 03 実績	第 4 次中期経営計画	
			2014. 03 目標	2011. 03 比
売上高	220, 170 (199, 850)	192, 617 (175, 968)	210, 000	109% (119%)
営業利益	6, 071	4, 128	6, 200	150%
経常利益	6, 626	4, 357	6, 400	147%
当期純利益	3, 937	1, 984	4, 000	202%

注）2014. 03 目標売上高は、当社会計方針変更（輸出航空混載貨物輸送における当社受取手数料等の計上方法変更）後の数値であり、2007. 03、2011. 03 売上高の（ ）内数値は、当該計上方法を変更した場合の参考値

以 上